

第6学年 外国語科 学習指導案

日 時：令和3年12月10日

学 級：第6学年

1 単元名 日本のお宝を紹介しよう ～My country, my treasure.～

2 単元の目標

外国の人からのビデオレターに応えるために、これまでの学習で慣れ親しんだ語句や基本的な表現を用いて、自分が伝えようとする「日本のお宝」の内容を構成し、伝え方を工夫しながら分かりやすく紹介することができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「日本のお宝」を紹介するために、慣れ親しんだ語句や表現を理解して使い、外国の人に伝えている。	「日本のお宝」を紹介するために、学習した語句や表現を選択して内容を4文以上で構成し、目的や場面、状況に応じて相手に伝わる工夫をして話している。	「日本のお宝」を紹介するために、他者に配慮しながら相手に伝わるように工夫して話そうとしている。

4 単元について

(1) 学習指導要領解説より

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 外国語活動・外国語編における第5学年及び第6学年の内容(2)アに位置付ける。

(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを表現することを通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。

(2) 児童の実態

本学級には、昨年度から週2回、外国語の授業で専科教員として関わっている。NEW HORIZON Elementaryの教科書を使用して、インプットからアウトプットがスムーズにできるように、毎時間の活動内容を工夫して、どの子も意欲的に取り組めるように進めている。4月から続けている today's question（既習事項を使ってペアでsmall talk.）も定着してきて、Activityでのやり取りに慣れてきた児童も多い。小集団での活動では、互いにアドバイスしたり励まし合ったりする姿もあり、「友達のおかげでわかった。」と振り返る児童もいる。また単元のゴールを見通して活動に取り組んだり、昨年学習した内容を思い出したりする姿も見られることがある。一方で、慣れている友達の前でのやり取りや発表ができるが、全体の前での発表やALTとのデモンストレーションにチャレンジしたい気持ちはあっても、失敗や間違いを恐れてできない児童もいる。今までの学習で身に付けた既習表現を活用し、「自分の英語が伝わった!」「反応してくれて嬉しい!」といった経験を積み、一人一人自信につなげ、英語でのコミュニケーションが楽しいと思える児童を増やしていきたい。

(3) 単元について

本単元は、今までの外国語の学習や他教科等での学習をもとに、児童が日本のよさについて改めて興味をもち、自分が考える「日本の宝」を既習の表現を使って外国の人に紹介する、ことを目標としている。

NEW HORIZON の UNIT 2 「How is your school life?」の単元では、自分の日常生活や宝物について発表した。また、外国の子どもたちが紹介する宝物を見て「びっくりした。」「日本では考えられない。」といった感想が多く出た。国や環境、気候などの違いで大切にしているものが異なると考えた児童たちに、最終活動で「日本で大切にしているもの・宝」について調べたり考えたりする時間を設け、意見交流した。今回は、2学期の学習「世界と自分のつながり」のまとめとして、外国の人へビデオレターの返事をするという目的で自分が考える「日本の宝」を紹介する。他教科等、他学年での学習や今までの経験などを振り返ったり、1学期に考えた日本の宝と比較したりしながら、日本のよさを改めて見直して紹介したいものを決める。紹介するための表現や伝え方は、今までの学習で積み重ねてきたことを各自選択して取り入れ、相手意識をもって分かりやすく伝えることを目指す。「表現を組み合わせる、相手意識をもって紹介する、伝え方を工夫する」ことで、伝わる楽しさや達成感を味わわせ、この先も積極的に外国の人と英語でコミュニケーションをとろうとする意欲や態度につなげたい。

◇児童のワークシートから抜粋◇

外国で大切にされているものを知って、思ったこと

- ・想像と違った。びっくりした。
- ・その国の習慣や文化によって大切なものが違うと思った。
- ・食料などが足りなくて苦しんでいる人たちは、その足りない物が宝物だと思った。
- ・日本では当たり前のことも、外国では当たり前ではない。
- ・国の環境、地域、気候、また情勢によって宝物が変わると思った。
- ・改めて水の大切さが分かった。日本に生まれて幸せだと思った。自分たちは高級なことをしている。
- ・もっと他の国の宝物を知りたいと思った。他にも調べてみたいと思う。 (その他)

Unit 2 大切なものについて考えよう 6 GRADE
外国で大切にされているものを知って、思ったこと
日本で大切にしているもの、されているもの
調べたこと:
調べたことから考えたこと

日本で大切にしているもの、されているもの

- ・平和 ・思いやりの心 ・天皇 ・文化 ・日本家屋、建築物 ・富士山 ・世界遺産
- ・土地 ・江戸しぐさ ・礼儀、マナー ・自然 ・古都、京都の文化財 ・人権 ・食べ物
- ・挨拶 ・お辞儀 ・おもてなし ・温泉 ・日本国憲法 ・和食 ・お金
- ・原爆ドーム ・伝統工芸品 ・人情 ・神社仏閣 ・平和主義 ・人

育成を目指す子どもの姿（重点）

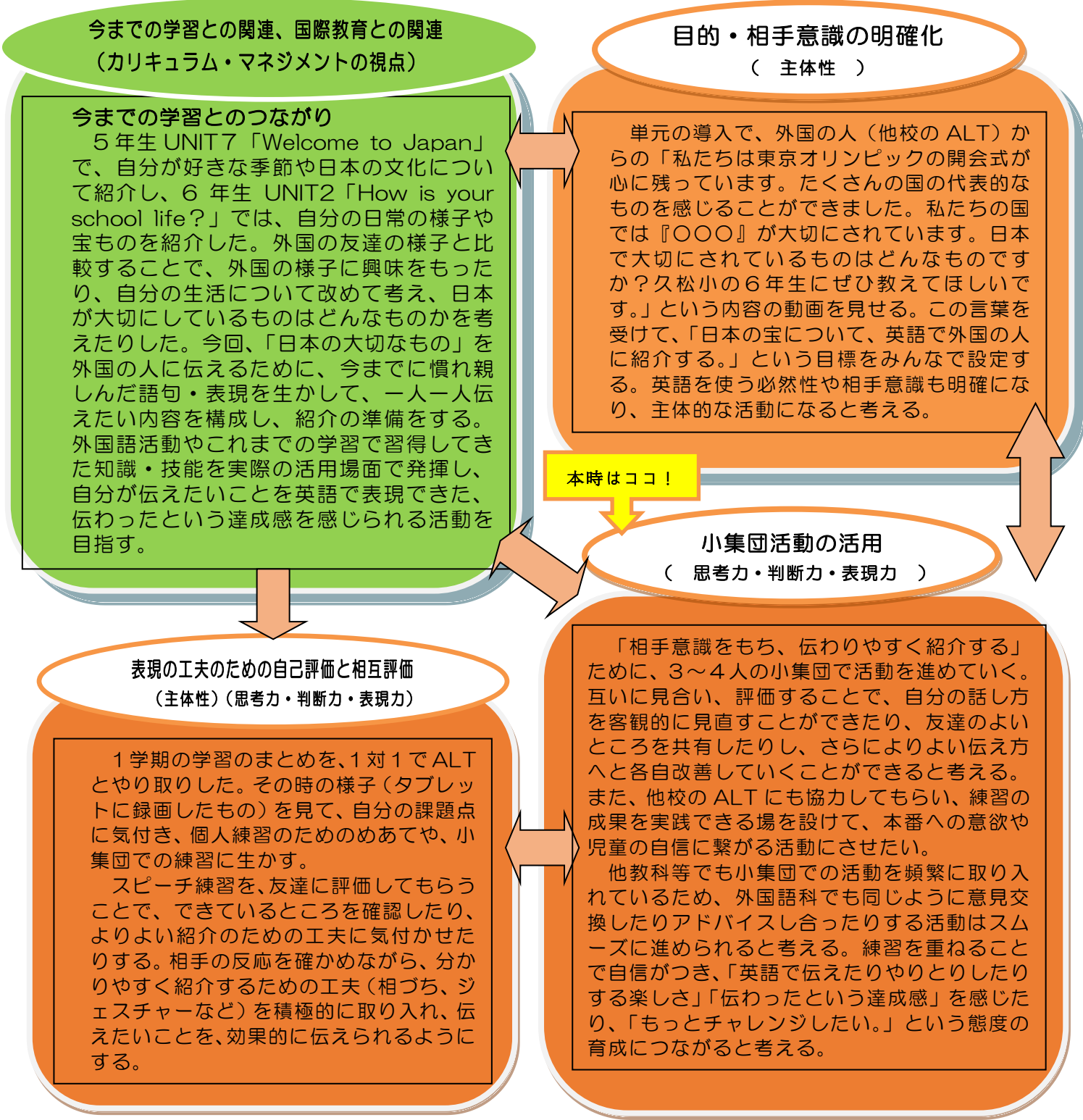
②情報を比較・分類・関連付け・理由付けをしながら自分の考えを広げ、深めることができる子
（思考力、判断力、表現力）

④学んだことを生かして、自ら課題を見付けて解決しようとする子
（学びに向かう力、人間性等）

【 **思考力・判断力・表現力** 創造性 多様な考え **主体性** 社会性 思いやりの心 協働性】

具体的手だてと活動

・育成を目指す子どもの姿に迫るために
・主体的・対話的で深い学びに迫るために



6 指導・評価計画（全5時間）

時	目 標	学習活動	評価規準・評価方法
1	<p>・日本文化を外国の人に紹介するという目標を理解し、自分の経験や各教科等での学習を生かして、「日本の宝」のイメージをもつことができる。</p>	<p>① 外国の人からのメッセージビデオを観て、感想を伝え合う。 「英語で外国の人に日本の宝を紹介しよう。」という目標をたてる。</p> <p>② 宝と言われるには、どんな要素が必要か、またどんなものがあるかなど、意見を交流する。（全体でイメージマップを作成してみる。）</p> <p>③ 各自、宝物を決めるためのイメージマップを作成。</p>	<p>【思】 メッセージビデオから、外国の人に日本の宝を紹介する、という目標を設定する。 （発）（観）</p> <p>【態】 日本の宝について、自分の考えを話している。 （発）（観）</p>
2	<p>・「日本の宝」の紹介の仕方を知り、英語での表現の意味や使い方を理解して、聞いたり言ったりすることができる。</p>	<p>① 外国の人からのビデオを再度視聴する。</p> <p>② 教師の発表モデル（☆資料1）を聞き、既習の簡単な表現を使って5文くらいで紹介することを知る。</p> <p>③ 英語での表現の仕方を確認し、基本の文型を練習する。</p> <p>④ 「日本の宝」を紹介するために必要な表現や語句を選び、紹介する内容の準備をする。（ワークシート）</p>	<p>【知】 「日本の宝」を紹介するための基本の表現の仕方が分かる。（発）（ワ）</p> <p>【態】 伝えたい内容の英語での言い方を知り、その表現に慣れ親しむ。（観）</p>
<p>☆資料1</p> <p>Hello,I'm ○○○.</p> <p>My country's treasure is Mt.Fuji.</p> <p>Mt.Fuji is the tallest mountain in Japan and a World Heritage site.</p> <p>You can see it everywhere in Japan.</p> <p>It's wonderful !</p>			
3	<p>・「日本の宝」を紹介するために、既習の表現を使って文を構成し、紹介のために必要なものを考える。</p>	<p>① 紹介するテーマについての説明を、簡単な言葉や既習表現を使って4文程度で考える。（ワークシート使用。）</p> <p>② 内容が十分に伝わるように、ポスターを作成する。（見本も参考にする。）</p>	<p>【知】【思】 「日本の宝」を紹介するために、既習の表現を使って内容を構成している。 （ワ）（作）</p>

<p>本 時 4</p>	<p>・「日本の宝」を外国の人に分かりやすく伝えるため、工夫して紹介の練習をしている。 (個人、小集団)</p>	<p>① 個人練習する。 ② 「外国の人に紹介する」ことを意識して、グループで練習を見合う。 ③ 中間評価では、外国の人に紹介することを再度確認したうえで、よりよい紹介の仕方を考える。 ④ グループの課題を全体で共有して考える。再度練習する。(自己紹介を入れる。リアクションに対する受け答えを考える、などALTからアドバイス。)</p>	<p>【思】【態】 自己評価、相互評価を活用し、外国の人に分かりやすく伝えるための方法を考え、様々な方法を試して話している。 (観) (ワ)</p>
<p>5</p>	<p>・外国の人に、日本文化について紹介することができる。</p>	<p>① 前回の学習を生かして、外国の人に日本文化を紹介をする。 ※各クラス、オンラインで外国の人に紹介する。12月中に実施する。 ② 振り返り</p>	<p>【態】 相手を意識して、分かりやすく「日本の宝」について紹介している。 (観) (振カード)</p>

7 本時の学習（4 / 5 時間）

（1）目標

「日本の宝」を外国の人に分かりやすく伝えるため、工夫して紹介の練習をしている。

小集団活動の活用
（思考力・判断力・表現力）

（2）展開

分	主な学習活動	◇指導上の留意点 ●支援 ☆評価
0	○Greeting (ALTと児童) ○Today's question (既習事項を使ってペアでsmall talk.)	◇既習事項を使って、簡単な表現で伝えたいことを表現できる、ということ意識させる。 ●TV画面にもやり取りの話形を提示して、迷ったら確認できるようにする。
5	○Today's goal	
	相手に伝わるように、工夫して発表練習しよう。	
8	○Review 基本表現を復習する。 ○Activity 1 各自発表練習をする。 ⇒自己評価（ワークシート） ○Activity 2 ・小集団グループで、友達と互いの発表を見合う。 ⇒相互評価し（ワークシート）自分の達成度や課題を確認。	◇Eye contact、Clear voice、Smile、Gesture、Reactionの確認 ●評価の観点になるルーブリックをワークシートに載せておく。 TV画面にも提示して確認できるようにする。 ◇紹介の内容を話すだけでなく、聞き手の反応を確かめるようにする。 ☆友達と見合いながら、よりよい紹介の仕方を考えている。 【思】（観察）（ワークシート）
20	【中間評価】 ・評価をもとに、気付いたことや困ったこと、伝わりやすい話し方などのポイントなど、グループで共有→全体で共有する。 ・外国の人に紹介することを想像し、全体で共有したことやALTのアドバイスを生かして、再度グループで練習する。 ・ボランティアの先生相手に紹介の練習をしてもよいことを伝える。	◇ALTから、話すための4つのポイントについて、再度確認のため紹介してもらう。TV画面にも提示する。 P P S A ⇒ posture、pause、self introduction ask questions・・・など。
35	⇒2回目の自己評価 ・何人かに発表してもらう。 ○Looking back 口頭で、めあての振り返りをする。 本番を意識した練習をしてみて、気付いたこと、工夫したこと、うまくいったこと、等発表する。	☆相手に伝わりやすいように工夫して、日本の宝について紹介する練習をしている。【態】（観察） ◇初めの自己評価と2回目の自己評価を比べ、どう変化したかを確認して成果を実感できるようにする。 ◇今日の学習で改善して良くなったことなど全体で共有し、本番に向けての意欲を高める。
43	○Greeting 次時の予告をして、挨拶をする。	

日本の宝を紹介しよう

today's goal **相手に伝えるように、工夫して紹介の練習しよう。**

相手の反応がある
拍手 笑顔 うなづき

☆☆PPSA☆☆

P	P
S	A

warm up △きんちょうする
practice △相手の反応がわからない
activity △急に紹介を始めるのは・・・
looking back △リアクションされたら・・・

主な表現、主な語彙

どんな	様子 (大きさ、色、形など)	もの
traditional 伝統的な historical 歴史的な famous popular colorful huge 大きい various いろいろな important	It's red. It's long. It's round. It's oval. ◇長さ (m) It's 2,000 meters long. ◇高さ (m) It's 300 meters tall. ◇古さ It's 600,000 years old ◇時代 It's from the Meiji period	event food festival culture animal island sweets tower place shrine temple clothing
季節	詳しく種類や内容を紹介できる	できること
in spring summer fall winter	○○がある。 There is ○○. There are ○○ and ◇◇. It has ○○○. ○○からできている。 It's made from ○○. It's made of ○○.	見る : You can see~. 食べる : You can eat~. 楽しむ : You can enjoy~. ~の気分になる、~を感じられる : You can feel~.

経験したこと

I went to~. I ate ~. I enjoyed ~. I had ~. It was ~.

既出: 国、生き物、建物、自然、状態、年中行事、飲食物、季節、動作、スポーツなど。

※☆資料1の中の「the tallest mountain」の最上級については、5年生のUNIT7「Welcome to Japan」の例文で紹介している。